

県民意識調査（案）

【調査方法】

e-モニター及び議会傍聴者へのアンケートを実施。

アンケート期間：e-モニター 令和8年10月14日（水）～10月27日（火）

傍聴者アンケート 9月24日（木）～10月8日（木）

e-モニター：あらかじめ無作為に抽出した県民のうち、モニター登録を希望された方を対象に実施する電子アンケートで、そのアンケート結果によって、県民の意識傾向、ニーズを迅速・簡易に把握し、県政課題の解決や事業運営に活用していくことを目的としている。

【アンケート実施趣旨】

三重県議会では、今の議員の任期である4年間で効果的かつ効率的に議会活動を行うため、特に注力して実施すべき取組をまとめた「三重県議会 議会活動計画」を策定し、活動しています。現在活動している議員の任期の最初の年である令和5年5月に、第3期の「三重県議会 議会活動計画」を策定しました。以降、毎年度、取組の評価を行いながら改善へとつなげています。

令和8年度はこの計画の最終年度であることから、4年間の活動を検証するため、県民の皆さまにアンケートを実施します。

【アンケート本文】

（Q1 開かれた議会運営の実現について）

三重県議会では、議会での活動を県民のみなさんに分かりやすく伝え、みなさんが参加しやすい「開かれた議会」をめざしてさまざまな取組を行っています。

あなたは、こうした取組が十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

（主な取組）

会議のインターネット中継、議長定例記者会見、公式SNSでの情報発信等

- ・ そう思う
- ・ どちらかといえばそう思う
- ・ どちらかといえばそう思わない
- ・ まったくそう思わない
- ・ わからない

(Q 2 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進について)

県議会は、知事や県の執行機関から出された県の予算や条例、計画などを審議し、チェックする役割を担っています。

あなたは、こうした取組が県民の立場でしっかりと行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(主な取組)

委員会での審議の活性化、当初予算の調査・審査、総合計画の調査・審査等

- ・ そう思う
- ・ どちらかといえばそう思う
- ・ どちらかといえばそう思わない
- ・ まったくそう思わない
- ・ わからない

(Q 3 独自の政策立案と政策提言の強化について)

県議会では、提出された予算や条例などの議案を審議するだけでなく、議員自らが県民の立場にたって、政策の提言や条例の制定に取り組んでいます。

あなたは、こうした取組が十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(主な取組)

議員による県の政策に関する条例の制定（議員提出条例）、議員勉強会の開催等

- ・ そう思う
- ・ どちらかといえばそう思う
- ・ どちらかといえばそう思わない
- ・ まったくそう思わない
- ・ わからない

(Q 4 分権時代を切り開く交流・連携の推進について)

三重県議会では、全国の都道府県議会などの地方議会と交流・連携をしながら、議会改革の輪を広げています。

あなたは、こうした取組がしっかりと行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(主な取組)

全国都道府県議会議長会や紀伊半島三県議会交流会議への参加、共同での要望活動等

- ・ そう思う
- ・ どちらかといえばそう思う
- ・ どちらかといえばそう思わない
- ・ まったくそう思わない
- ・ わからない

(Q 5 県議会の活動について)

あなたは、県議会が今後どのような活動に力を入れるべきだと考えますか。あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

- ・ 開かれた議会運営の実現＜県議会の活動の情報提供の充実等＞
- ・ 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進＜県民との意見交換の場の充実等＞
- ・ 独自の政策提言と政策立案の強化＜議員提出条例の制定等＞
- ・ 分権時代を切り開く交流・連携の推進＜他県議会と共通する課題についての意見交換等＞
- ・ わからない

(Q 6 県議会について)

三重県議会全体について、ご意見があれば自由にご記入ください。(自由記載：300 字以内)